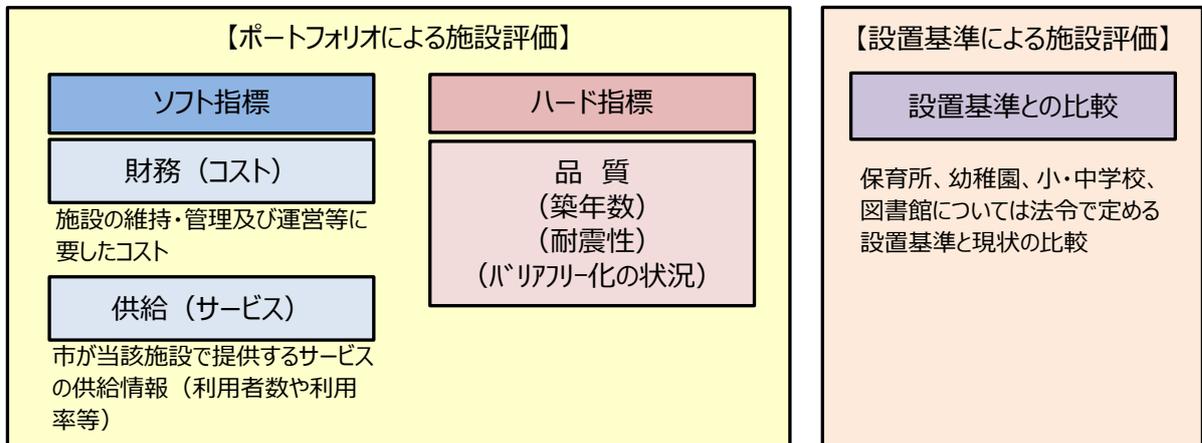


## 公共施設の分析評価について

### 1. 施設評価の基本的な考え方

- 施設評価は、施設が持つソフト指標（財務・供給）とハード指標（品質）の視点から評価を行う「ポートフォリオによる施設評価」と、施設の設置基準を満たしているかという視点から評価を行う「設置基準による施設評価」に分けて行います。（図①「公共施設の評価の概要」参照）



図① 公共施設の評価の概要

### 2. ポートフォリオによる施設評価の考え方

#### （1）評価対象となる施設の分類と評価指標

- 評価の対象となる施設は、施設が持つ役割や性質がそれぞれ異なるため、施設を次の通り分類して、施設分類ごとに評価指標を設定します。（表①「施設分類と評価指標」参照）

表① 施設分類と評価指標

施設分類			評価指標
①行政事務系施設	行政が行政事務を執行するために設けた必要な施設	庁舎、消防施設、防災備蓄倉庫など	・ハード指標（品質） ・ソフト指標（財務）
②市民サービス系施設	行政が市民生活の向上を図ることを目的に設けた施設で、市民が目的を持って利用する施設	集会施設、文化施設、図書館、スポーツ・リクリエーション施設、学校、子育て支援施設、福祉施設、医療施設など	・ハード指標（品質） ・ソフト指標（財務・供給）
③生活基盤系施設	行政が市民生活の基盤として設置した施設	公園施設、上水道施設、公衆便所など	・ハード指標（品質） ・ソフト指標（財務）

(2) ポートフォリオによる施設評価の評価指標

- ソフト指標には、施設の維持・管理、運営に係る行政負担である「財務（コスト）」と、施設で市民に提供されるサービスの利用状況である「供給（サービス）」の指標と二つの指標があります。
- ハード指標は、「品質」の一つの指標となります。

表② 評価指標の内容

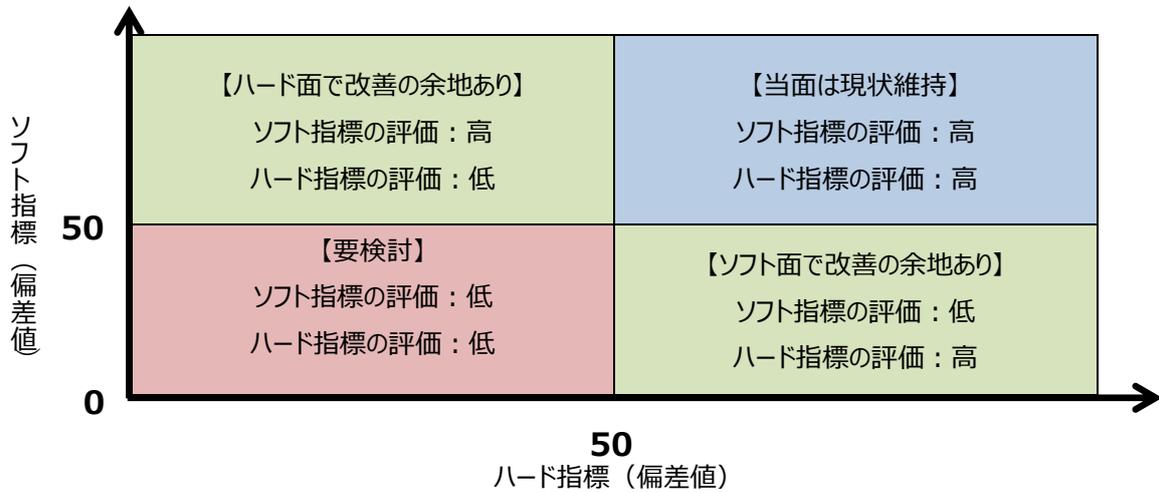
評価指標		評価指標の内容	
ソフト指標	財務（コスト）	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の維持・管理、運営に要した延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりのコスト（平成 26 年度実績）</li> </ul>	施設に使われる行政負担の多寡を評価します。
	供給（サービス）	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設特有の利用状況や稼働状況を把握できる指標について評価単位別に評価項目を設定</li> <li>平成 24 年度～平成 26 年度の 3 年間の施設利用者の推移</li> </ul>	施設利用の効率性や施設利用度を評価します。
ハード指標	品質	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の<u>築年数（建築後の経過年数）</u></li> </ul>	施設の老朽度を評価します。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>建築時期や耐震工事の実施状況による施設の<u>耐震性</u></li> </ul>	施設の安全性を評価します。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>出入口、廊下、階段、昇降機、便所などの施設によって必要な<u>バリアフリー化の状況</u></li> </ul>	施設の快適性（利用し易さ）を評価します。

- ソフト指標には「財務」と「供給」の二つの評価指標、また、ソフト指標の「供給」には利用状況や利用者の推移、ハード指標の「品質」には築年数、耐震性、バリアフリー化の状況など複数の視点があります。
- このように、ソフト指標、ハード指標とも複数の指標や視点があるため、統一的に評価できるように評価の偏差値化を行います。
- 偏差値化した評価は、ソフト指標、ハード指標ごとに合計して、さらに偏差値化することで一つの値とします。（表③「評価指標の算出方法」参照）

表③ 評価指標の算出方法

施設分類	評価指標の算出方法
①行政事務系施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフト指標：「財務」の偏差値</li> <li>ハード指標：「経過年数」の偏差値+「耐震性」の偏差値+「バリアフリー」偏差値 → 合計値を偏差値化</li> </ul>
②市民サービス系施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフト指標：「財務」の偏差値+「供給」の偏差値 → 合計値を偏差値化</li> <li>ハード指標：「経過年数」の偏差値+「耐震性」の偏差値+「バリアフリー」偏差値 → 合計値を偏差値化</li> </ul>
③生活基盤系施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフト指標：「財務」の偏差値</li> <li>ハード指標：「経過年数」の偏差値+「耐震性」の偏差値+「バリアフリー」偏差値 → 合計値を偏差値化</li> </ul>

- ソフト指標、ハード指標の偏差値からポートフォリオにより4つの象限に区分し、各施設における今後の取組みの方向性を示します。(図②「ポートフォリオによる施設評価結果」、表④「ポートフォリオで分類された評価判定」参照)
- 基準軸は偏差値50とします。



図② ポートフォリオによる施設評価結果

表④ ポートフォリオで分類された評価判定

評価判定	概ねの方向性
当面は現状維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ソフト（財務・供給）とハード（品質）の評価がともに高い。</li> <li>● 当面は、現状維持・継続利用を行っていく。</li> </ul>
ソフト面で改善の余地あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ソフト（財務・供給）の評価が低い。</li> <li>● 施設の利用向上やコスト低減等のソフト面での改善の余地がある。</li> </ul>
ハード面で改善の余地あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ハード（品質）面の評価が低い。</li> <li>● 施設の修繕や改修等のハード面での改善の余地がある。</li> </ul>
要検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ソフト（財務・供給）とハード（品質）の評価がともに低い。</li> <li>● 施設の存続等について検討を要する。</li> </ul>

(3) 評価単位と評価対象施設

- ポートフォリオによる施設評価では、施設ごとに役割や性格が異なることから、評価対象施設を表⑤「評価単位と評価対象施設」に記載の評価単位ごと分類し、施設評価を行います。(表⑤「評価単位と対象施設」参照)

表⑤ 評価単位と評価対象施設

施設分類	評価単位	施設名称			(参考)公共施設の施設用途分類		
					施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	
行政事務系施設	庁舎等	柏原市役所	堅上合同会館(出張所)	国分合同会館(出張所)	行政系施設	庁舎等	
		柏原市教育センター	教育研究所	かしわらっ子はぐみセンター			
	消防施設	堅上消防会館	堅下消防会館	消防第1分団詰所		消防施設	
		消防第3分団(国分合同会館内)					
	防災備蓄倉庫	旭ヶ丘2丁目1区防災備蓄倉庫	旭ヶ丘2丁目2区防災備蓄倉庫	横尾広場防災備蓄倉庫		防災備蓄倉庫	
		高井田第一号公園防災備蓄倉庫	国分市場緑地広場防災備蓄倉庫	国分本町5・6丁目防災備蓄倉庫			
		上市防災備蓄倉庫	上市4丁目防災備蓄倉庫	大泉防災備蓄倉庫			
		大正防災備蓄倉庫	田辺池防災備蓄倉庫	田辺池防北側(若草公園)防災備蓄倉庫			
		東春日台防災備蓄倉庫	東条防災備蓄倉庫	平野防災備蓄倉庫			
		片山町区防災備蓄倉庫	本郷防災公園備蓄倉庫				
	その他施設	高井田水防倉庫	片山材料倉庫			その他施設	
	市民サービス施設	市民文化系施設	国分合同会館(集会施設)	堅下合同会館(集会施設)		リエールホール	市民文化系施設
柏原市立青少年センター			柏原市民プラザ				
青山台自治会集会所			片山婦人会館				
柏原西コミュニティ会館			柏原南コミュニティ会館	国分東コミュニティ会館			
文化施設		堅上コミュニティ会館	堅下北コミュニティ会館	玉手地域コミュニティ会館	文化施設		
		柏原市民文化センター	高井田文化教室(柏陽庵)				
社会教育系施設		図書館	市立柏原図書館	市立国分図書館	社会教育系施設	図書館	
		博物館	柏原市立歴史資料館			博物館	
スポーツ・レクリエーション施設		円明運動広場	堅下運動広場	市営片山庭球場	スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ施設	
		柏原オーエンスアリーナ	柏原オーエンス第二アリーナ	青谷青少年運動広場			
		平野子どもスポーツ広場					
		サンヒル柏原	自然体験学習施設	高尾山創造の森			
産業系施設		農業総合地域センター	柏原市立労働者センター		産業系施設	産業系施設	
学校教育系施設		中学校	柏原中学校	堅上中学校	国分中学校	学校教育系施設	中学校
			堅下北中学校	堅下南中学校	玉手中学校		
			柏原小学校	柏原東小学校	堅上小学校		
			国分小学校	国分東小学校	堅下小学校		
		小学校	堅下北小学校	堅下南小学校	玉手小学校	小学校	
	旭ヶ丘小学校						
	玉手幼稚園		堅下北幼稚園	堅下幼稚園	幼保・子ども園		
	堅上幼稚園		国分幼稚園	柏原西幼稚園			
	柏原保育所	国分保育所	円明保育所				
	堅下保育所	法善寺保育所	柏原西保育所				
	放課後児童会	柏原東小学校放課後児童会	堅下小学校放課後児童会	堅下北小学校放課後児童会	子育て支援施設	幼児・児童施設	
		堅下南小学校放課後児童会	国分小学校放課後児童会	国分東小学校放課後児童会			
		玉手小学校放課後児童会	旭ヶ丘小学校放課後児童会				
		スキップKIDS	つどいの広場 たまてばこ	ハロー-KIDS			
	その他施設	ほっとステーション					
	保健・福祉施設	市立自立支援センター	健康福祉センター オアシス	老人福祉センター やすらぎの園	保健・福祉施設	高齢福祉施設/障害福祉施設/保健施設	
	医療施設	市立柏原病院			医療施設	医療施設	
	自転車駐車場	柏原駅東自転車駐車場	柏原駅西口第3自転車駐車場	柏原駅西口自転車・自動車駐車場	その他	自転車駐車場	
柏原南口自転車駐車場		安堂駅自転車駐車場	堅下駅西自転車駐車場				
堅下駅東自転車駐車場		堅上自転車駐車場	高井田駅第1自転車駐車場				
高井田駅第3自転車駐車場		国分駅西第1自転車駐車場	国分駅西第2自転車駐車場				
国分駅西第3自転車駐車場		国分駅東自転車駐車場	国分駅前再開発ビル自転車置場				
法善寺駅東自転車駐車場		法善寺駅西自転車駐車場					
生活基盤系施設	公園施設	玉手山公園(休憩所等)	竜田古道の里山公園(管理棟等)	原川親水公園(便所等)	公園施設	公園施設	
		史跡高井田横穴公園(あずまや等)	大正公園(便所)	長瀬川修景施設(あずまや)			
		歴史の丘展望台公園(便所)	高井田公園(便所)				
	上水道施設	玉手浄水場(浄水場管理棟)	玉手浄水場(水質検査室)		上水道施設	上水道施設	
	公衆便所	高井田駅前広場公衆便所	国分駅前広場公衆便所	国分市場緑地広場公衆トイレ	公衆便所		
		古町緑地広場簡易トイレ	本郷防災広場簡易トイレ				
	鉄道施設	安堂駅橋上駅舎	JR柏原駅自由通路	近鉄河内国分駅自由通路	その他	鉄道施設	
		国分市場第1雨水ポンプ場	国分第1雨水ポンプ場	国分第2雨水ポンプ場			
		片山雨水ポンプ場	片山浸水ポンプ場	高井田台汚水処理場(文化財収蔵庫)			
円明資源化物保管倉庫		西名阪柏原旭ヶ丘大気汚染常時監視測定局	柏原市斎場				
清浄泉(史跡)							

※丘の上の直売所、放置自転車保管所は、軽易な建物で維持管理費が発生していないため、評価対象施設に含めていない。

#### (4) 評価項目

- ソフト指標、ハード指標それぞれの評価指標の評価項目は次のとおりです。(表⑥「評価指標ごとの評価項目・評価方法」)
- ソフト指標のうち「財務(コスト)」は、全ての施設の評価項目とします。
- ハード指標の「品質」は、全ての施設の評価項目とします。

表⑥ 評価指標ごとの評価項目・評価方法

評価指標	評価項目	評価方法
ソフト指標	財務(コスト)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度に要した、当該施設における維持・管理、運営費の合計を施設の延床面積で除することにより延床面積1㎡当たりのコストを算出し、評価単位別に偏差値を算出し評価点とします。</li> <li>延床面積1㎡当たりの負担が低いほど、行政負担が低くなりコストに関する評価が高いと判断します。</li> <li>屋外施設(広場、運動場、庭球場等)は、延床面積に換えて施設面積で1㎡当たりのコストを算定します。</li> </ul>
	供給(サービス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価単位ごとに設定</li> <li>現況調査から得られた各施設の利用に関する情報を参考に、評価単位ごとに設定し評価します。(表⑦「評価単位別の供給(サービス)に関する評価項目」参照)</li> <li>施設利用者の推移</li> <li>平成24年度と平成26年度の施設利用者数を比較し、増加した場合と減少した場合に区別して評価点を設定します。(表⑧「利用者数の比較による評価」参照)</li> <li>評価単位別に偏差値を算出し評価点とします。</li> <li>施設利用者が増加していれば施設利用度が高くなり、市民利用の評価は高くなります。</li> </ul>
ハード指標	建築後の経過年数	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築後の経過年数は、施設に含まれる建物(棟別)の築年数の加重平均とします。</li> <li>算出された経過年数(加重平均)から評価単位ごとに偏差値を算出し評価点とします。</li> <li>経過年数が短いほど施設の品質の評価は高くなります。</li> </ul>
	品質	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性</li> <li>施設の建築時期や耐震工事の実施状況等を参考に施設の耐震性について評価単位ごとに評価します。施設に含まれる建物(棟別)の耐震化の状況をもとに、施設毎に耐震対応率(加重平均)を算出します。</li> <li>算出された耐震対応率(加重平均)から評価単位ごとに偏差値を算出し評価点とします。</li> <li>新耐震基準時期(1982年以降)に建築、あるいは既に耐震化が済んでいる場合は耐震性の評価が高くなります。</li> </ul>
	バリアフリー化の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>バリアフリー対応がされているかについて、評価単位ごとに評価します。</li> <li>バリアフリーの実施状況に応じて点数化します。</li> <li>算出されたバリアフリー化点数から評価単位ごとに偏差値を算出し評価点とします。</li> </ul>

(5) 供給（サービス）に関する評価項目の設定

- ソフト指標のうち、「供給（サービス）」の施設の利用状況等については、施設の役割や性格を踏まえ、次のように評価項目を設定します。（表⑦「評価単位別の供給（サービス）に関する評価項目」参照）

表⑦ 評価単位別の供給（サービス）に関する評価項目

評価単位		評価項目	評価式	評価点
大分類	中分類			
市民文化系施設	集会施設	年間利用率	利用コマ数／年間利用可能コマ数	利用率
		1日(開館日)当たりの利用件数	利用件数／年間開館日数	利用件数
	コミュニティ会館	1日(開館日)当たりの利用件数	利用件数／年間開館日数	利用件数
	文化施設	年間利用率	利用コマ数／年間利用可能コマ数	利用率
		1日(開館日)当たりの延利用者数	延利用者数／年間開館日数	利用者数
		1日(開館日)当たりの利用件数	利用件数／年間開館日数	利用件数
社会教育系施設	図書館	蔵書回転率	貸出冊数／蔵書冊数	回転率
		1日(開館日)当たりの延利用者数	延利用者数／年間開館日数	利用者数
	博物館等	1日(開館日)当たりの延利用者数	延利用者数／年間開館日数	利用者数
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ・レクリエーション施設	1日(開館日)当たりの延利用者数	延利用者数／年間開館日数	利用者数
産業系施設	産業系施設	1日(開館日)当たりの延利用者数	延利用者数／年間開館日数	利用者数
		1日(開館日)当たりの利用件数	利用件数／年間開館日数	利用件数
学校教育系施設	小学校	児童1人当たりの延床面積	延床面積／児童数	延床面積
	中学校	生徒1人当たりの延床面積	延床面積／生徒数	延床面積
子育て支援施設	保育所・幼稚園	在籍率	在籍者数／定員数	在籍率
		利用者1人当たりの延床面積	在籍者数／延床面積	在籍者数
	放課後児童会	在籍率	在籍者数／定員数	利用者数
		1日(開館日)当たりの延利用者数	延利用者数／年間開館日数	利用者数
	その他施設	1日(開館日)当たりの延利用者数	延利用者数／年間開館日数	利用者数
保健・福祉施設	保健・福祉施設	1日(開館日)当たりの延利用者数	延利用者数／年間開館日数	利用者数
自転車駐車場	自転車駐車場	1日当りの預かり台数	年間預かり台数／開設日	預かり台数
医療施設	医療施設	1日(開館日)当たりの延利用者数	延利用者数／年間開館日数	利用者数

- 利用者の推移については、平成24年度～平成26年度の利用者の推移をもとに評価します。（表⑧「利用者数の比較による評価」参照）

表⑧ 利用者数の比較による評価

比較結果	施設利用者推移の傾向	評価点
平成24年度 ≤ 平成26年度 の利用者数      の利用者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成24年度～平成26年度まで一貫して増加傾向にある。</li> <li>● また、平成25年度に一度減少したとしても、総体的にみれば増加傾向にある。</li> <li>● 平成24年度～平成26年度まで利用者は減少していない。（維持している）</li> </ul>	5
平成24年度 > 平成26年度 の利用者数      の利用者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成24年度～平成26年度まで一貫して減少傾向にある。</li> <li>● また、平成25年度に一度増加したとしても、総体的にみれば減少傾向にある。</li> </ul>	1

(5) ソフト指標とハード指標の偏差値の算出例

【評価例】 評価単位が「子育て支援施設（その他施設）」の場合

(手順1) 評価単位別の平均値と標準偏差の算出

- 評価単位である「子育て支援施設（その他施設）」の施設を対象に、ソフト指標である「㎡当たりコスト」と「1日当たり延利用者数」と「利用者推移」の各評価項目の数値を基に、それぞれの平均値と標準偏差を算出します。
- 指標となる数値が大きいほど評価が高くなることとしていますが、㎡当たりのコストについてはコストが多いほど評価が低くなる（コスト負担が大きい）ことから、1㎡当たりのコストに「-1」を乗じて数値を補正してから平均と標準偏差を求めます。

表⑨-1 子育て支援施設（その他施設） ソフト指標（項目別平均値・項目別標準偏差）

施設名称	施設面積 (㎡) ①	コスト(円) ②	1㎡当たりコスト③ ②÷①	1㎡当たりコスト④ ③×(-1)	1日延利用者 ⑤	利用者推移 ⑥
スキップ KIDS	228.50	22,106,029	96,744	-96,744	46.4	5
つどいの広場 たまてばこ	143.90	12,136,189	84,338	-84,338	51.9	1
ハロ-KIDS	49.00	13,414,967	273,775	-273,775	15.8	5
ほっとステーション	342.50	12,795,332	37,359	-37,359	83.9	5
平均				-123,054	49.52	4
標準偏差				89,793.70	24.14	1.73

※評価項目数については、「表⑦ 評価単位別の供給（サービス）に関する評価項目」の通り、評価単位によって異なります。

(手順2) ソフト指標の偏差値の算出

- 算出した評価項目別の平均と標準偏差から、評価項目別の偏差値を算出します。
- 評価項目別の偏差値を合計してソフト指標の合計値として算出し、その合計値の偏差値を算出して、ソフト指標の偏差値とします。

表⑨-2 幼児・児童施設 ソフト指標（合計偏差値）

施設名称	1㎡当たりコストの偏差値①	1日延利用者の偏差値②	利用者推移の偏差値③	ソフト指標偏差値合計④ (①+②+③)	ソフト指標合計偏差値 ⑤
スキップ KIDS	52.9	48.7	55.8	157.4	53.6
つどいの広場 たまてばこ	54.3	51.0	32.7	138.0	44.2
ハロ-KIDS	33.2	36.0	55.8	125.0	37.9
ほっとステーション	59.5	64.2	55.8	179.6	64.4

(手順3) ハード指標の偏差値の算出

- 手順1、2と同様に「ハード指標」についても偏差値を求めます。

表⑨-3 幼児・児童施設 ハード指標（合計偏差値）

施設名称	築年数の偏差値①	耐震性の偏差値②	バリアフリーの偏差値③	ハード偏差値合計④ (①+②+③)	ハード合計偏差値⑤
スキップ KIDS	50.8	50.0	57.3	158.1	54.2
つどいの広場 たまてばこ	58.9	50.0	52.4	161.3	55.8
ハロ-KIDS	33.5	50.0	33.0	116.5	32.8
ほっとステーション	56.9	50.0	57.3	164.2	57.3

### 【ハード指標を算出する際の留意事項】

- 施設の中には複数の建物（棟）から構成されている施設が存在することから、ハード指標を算出する際には、建物別に経過年数や耐震性やバリアフリー化などハード面での状況の違いを考慮するため、建物別の延床面積から加重平均を求める方法でそれぞれの評価項目を算出します。

### 【算出例 1】 築年数

- 施設に含まれる建物（棟）別の築年数の加重平均の算出方法は次の通りです。

【例】〇〇中学校（延床面積 1,000 m<sup>2</sup>）

- ・ 建物 A(200 m<sup>2</sup>)： 経過年数 30 年
- ・ 建物 B(300 m<sup>2</sup>)： 経過年数 40 年
- ・ 建物 C(500 m<sup>2</sup>)： 経過年数 50 年

$$200 \text{ m}^2 \times 30 + 300 \text{ m}^2 \times 40 + 500 \text{ m}^2 \times 50 = 43,000 \div 1,000 \text{ m}^2 \\ = \underline{\text{経過年数 43 年}}$$

- 算出した施設毎の経過年数から偏差値を求めます。なお、経過年数は数値が小さいほど評価が高くなるため、ソフト指標の「m<sup>2</sup>当たりコスト」と同様に「-1」を乗じて補正を行ってから偏差値を求めます。

### 【算出例 2】 耐震性

- 施設に含まれる建物（棟別）耐震性の加重平均の算出方法は次の通りです。

【例】〇〇会館（延床面積 1,000 m<sup>2</sup>）

- ・ 建物 A(200 m<sup>2</sup>)：旧耐震基準(1981 年以前建築) 耐震未対応 0%
- ・ 建物 B(300 m<sup>2</sup>)：新耐震基準(1982 年以降建築) 100%
- ・ 建物 C(500 m<sup>2</sup>)：旧耐震基準(1981 年以前建築) 耐震対応済 100%

$$(300 \text{ m}^2 + 500 \text{ m}^2) \div 1,000 \text{ m}^2 \\ = \underline{\text{耐震対応率 80\%}}$$

- 算出した施設毎の耐震対応率から偏差値を求めます。

### 【算出例 3】 バリアフリー化

- 施設のバリアフリー化の評価点の算出方法は次の通りです。

【例】〇〇スポーツセンター バリアフリー化の状況(○:対応済み、△:一部対応済み、×:未対応、-:該当なし)

- ・ 出入口 【○】⇒1 点
- ・ 廊下等 【×】⇒0 点
- ・ 階 段 【○】⇒1 点
- ・ 昇降機 エレベーター 【-】⇒1 点
- ・ 便 所 【×】⇒0 点
- ・ 駐車場 【△】⇒0.5 点

$$(1 \text{ 点} + 0 \text{ 点} + 1 \text{ 点} + 1 \text{ 点} + 0 \text{ 点} + 0.5 \text{ 点}) \div 6 \text{ 項目} \\ = 3.5 \text{ 点} \div 6 = \underline{\text{バリアフリー化点数 0.58 点}}$$

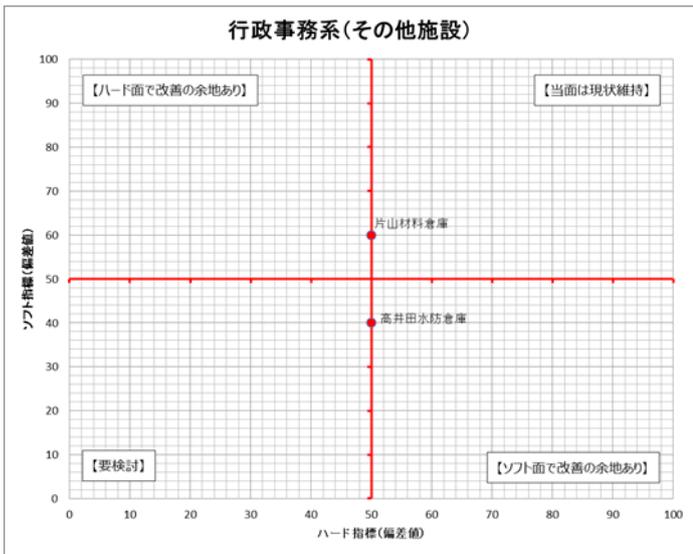
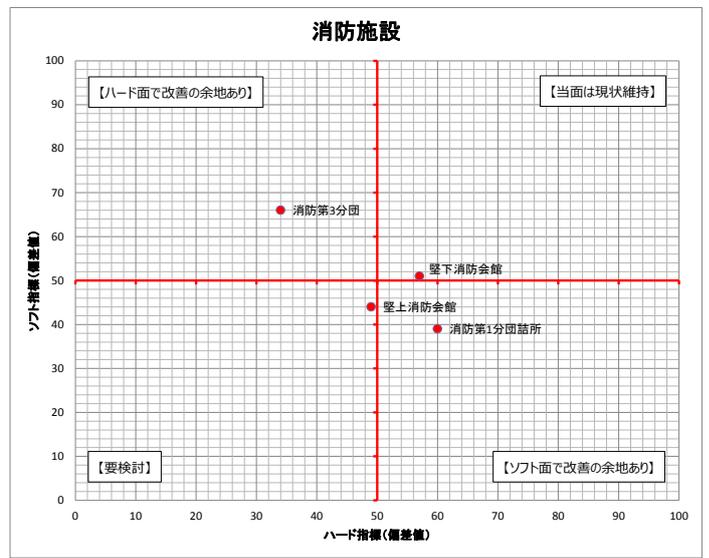
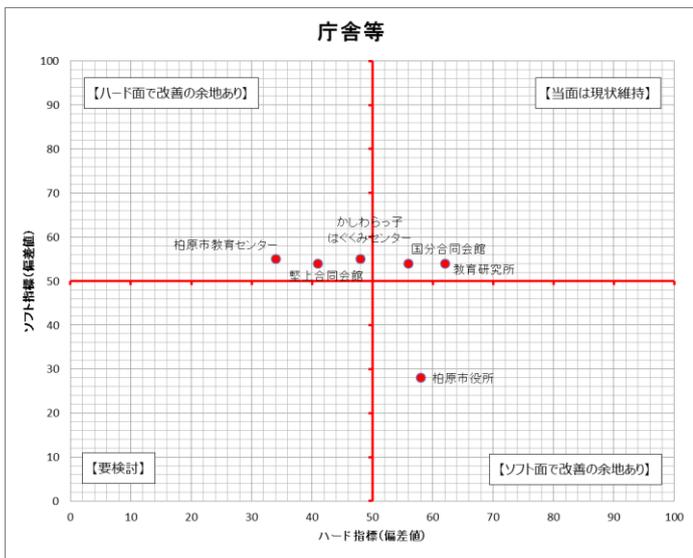
- 算出した施設毎のバリアフリー化の点数から偏差値を求めます。

### 3. ポートフォリオによる施設評価結果

- ポートフォリオによる施設評価結果は次のとおりです。

表⑩-1 評価結果【行政事務系施設】

施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	評価単位	施設名称	施設面積(m <sup>2</sup> )	余裕スペースの有無	偏差値		評価結果に基づく今後の取組み方針
						ソフト指標	ハード指標	
行政系施設	庁舎等	庁舎等	堅上合同会館	180.88	有	57	36	ハード面で改善の余地あり
行政系施設	庁舎等	庁舎等	国分合同会館	981.58	無	57	55	当面は現状維持
行政系施設	庁舎等	庁舎等	柏原市役所	6,765.97	無	36	59	ソフト面で改善の余地あり
行政系施設	庁舎等	庁舎等	柏原市教育センター	1,530.23	無	55	34	ハード面で改善の余地あり
行政系施設	庁舎等	庁舎等	教育研究所	320.71	無	54	62	当面は現状維持
行政系施設	庁舎等	庁舎等	かしわらっちはぐみセンター	625.00	有	55	48	ハード面で改善の余地あり
行政系施設	消防施設	消防施設	消防第1分団詰所	123.62	無	39	60	ソフト面で改善の余地あり
行政系施設	消防施設	消防施設	堅下消防会館	268.86	無	51	57	当面は現状維持
行政系施設	消防施設	消防施設	消防第3分団	240.35	無	66	34	ハード面で改善の余地あり
行政系施設	消防施設	消防施設	堅上消防会館	130.05	無	44	49	要検討
行政系施設	その他施設	その他施設	高井田水防倉庫	22.68	無	40	50	ソフト面で改善の余地あり
行政系施設	その他施設	その他施設	片山材料倉庫	31.56	無	60	50	当面は現状維持

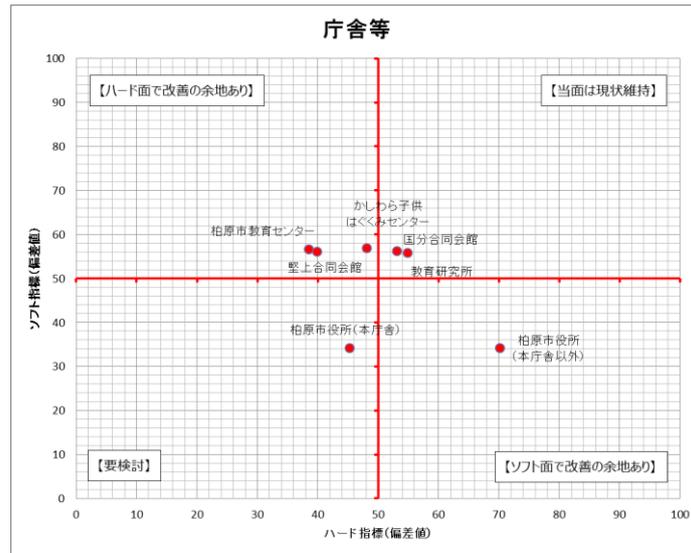


図③ 評価単位別ポートフォリオ(行政事務系施設)

【参考】 柏原市役所については、先行して「あり方検討」がなされている本庁舎と本庁舎以外で分けた参考評価を行いました。結果については次の通りです。

表⑩-2 評価結果【行政事務系施設(庁舎等)】

施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	評価単位	施設名称	施設面積(m <sup>2</sup> )	余裕スペースの有無	偏差値		評価結果に基づく今後の取り組み方針
						ソフト指標	ハード指標	
行政系施設	庁舎等	庁舎等	堅上合同会館	180.88	有	57	36	ハード面で改善の余地あり
行政系施設	庁舎等	庁舎等	国分合同会館	981.58	無	57	55	当面は現状維持
行政系施設	庁舎等	庁舎等	柏原市役所(本庁舎)	4,319.63	無	34	45	要検討
行政系施設	庁舎等	庁舎等	柏原市役所(本庁舎以外)	2,446.34	無	34	70	ソフト面で改善の余地あり
行政系施設	庁舎等	庁舎等	柏原市教育センター	1,530.23	無	55	34	ハード面で改善の余地あり
行政系施設	庁舎等	庁舎等	教育研究所	320.71	無	54	62	当面は現状維持
行政系施設	庁舎等	庁舎等	かしわら子供はぐみセンター	625.00	有	55	48	ハード面で改善の余地あり



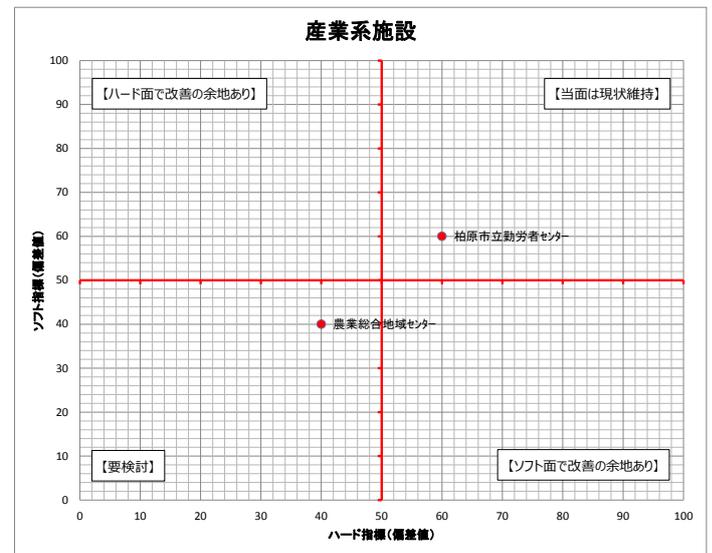
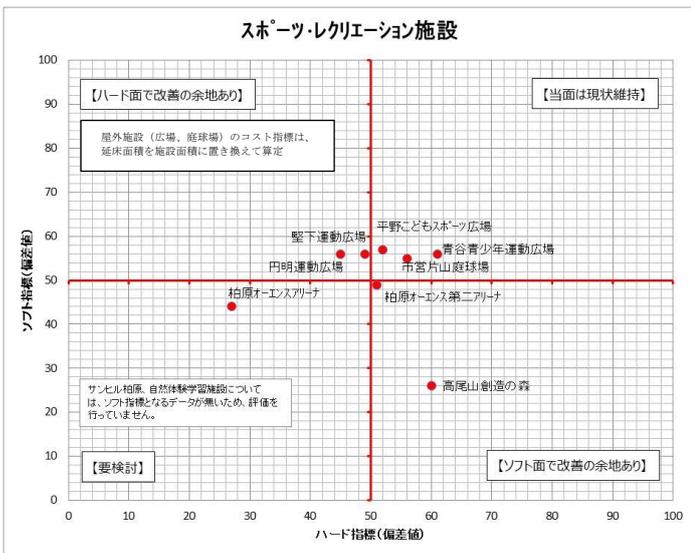
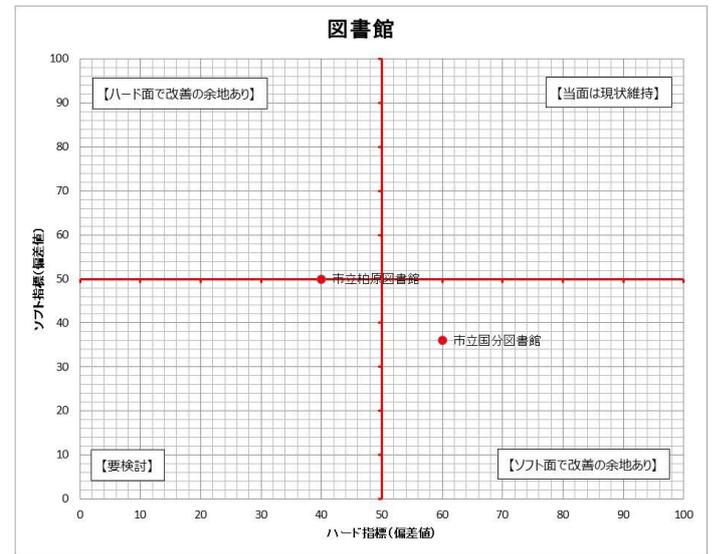
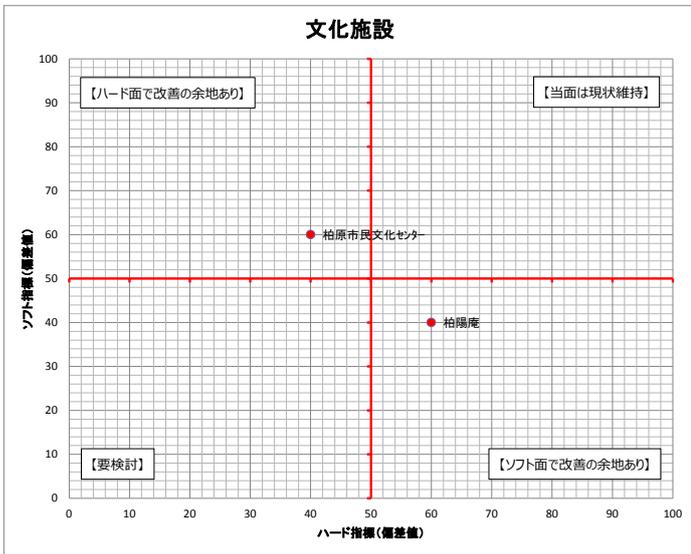
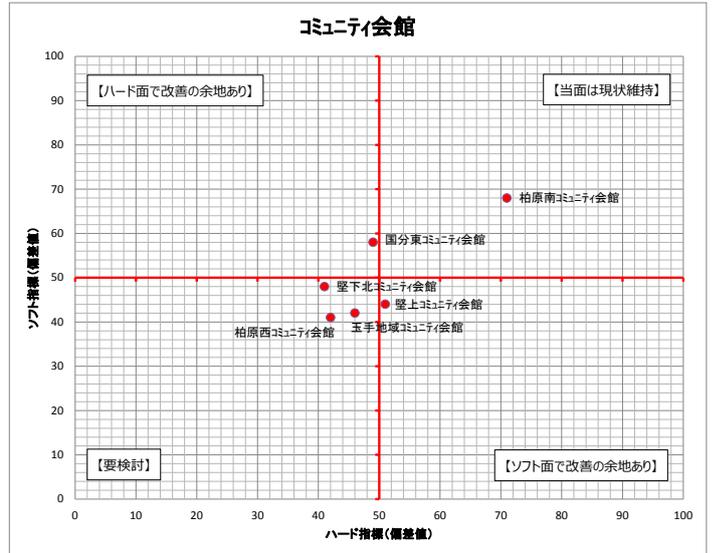
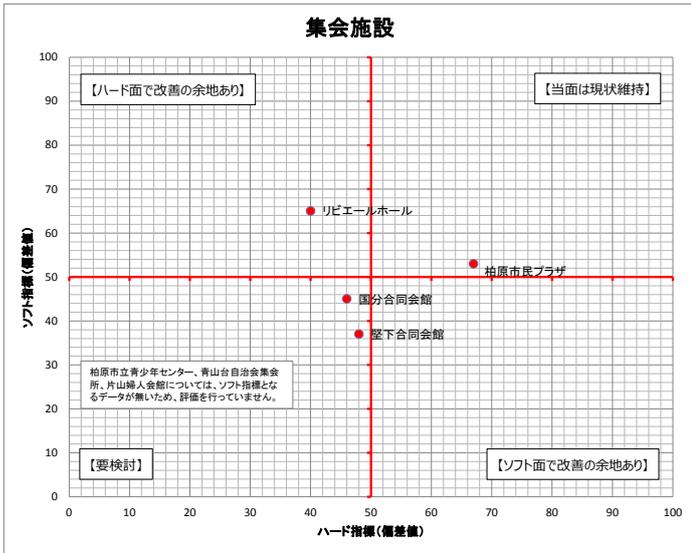
図③-2 評価単位別ポートフォリオ(行政事務系施設(庁舎等))

表⑪-1 評価結果【市民サービス系施設】

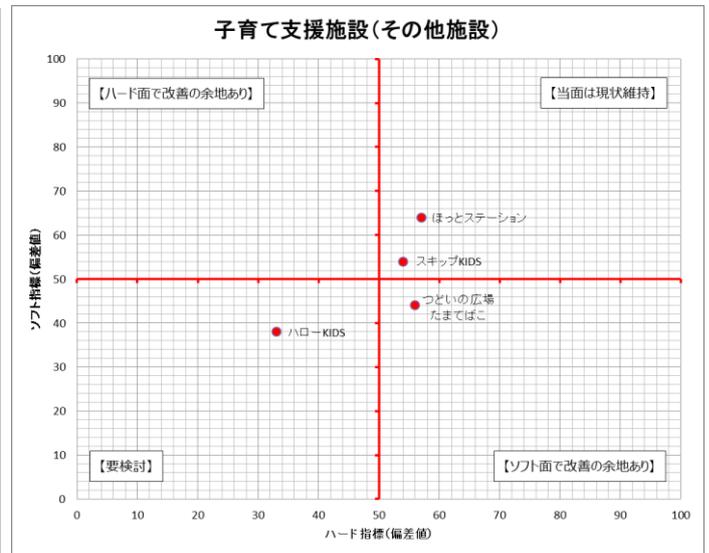
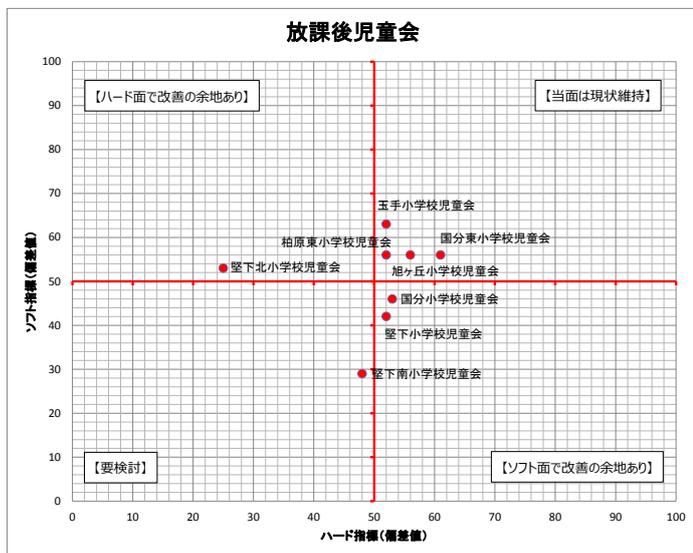
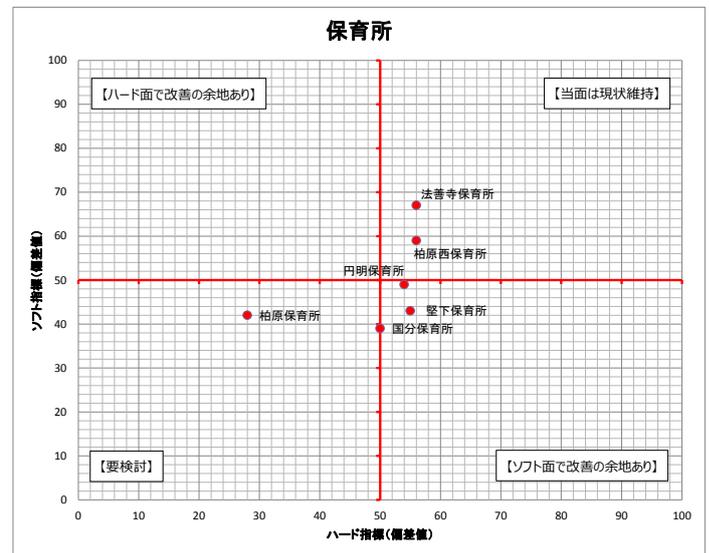
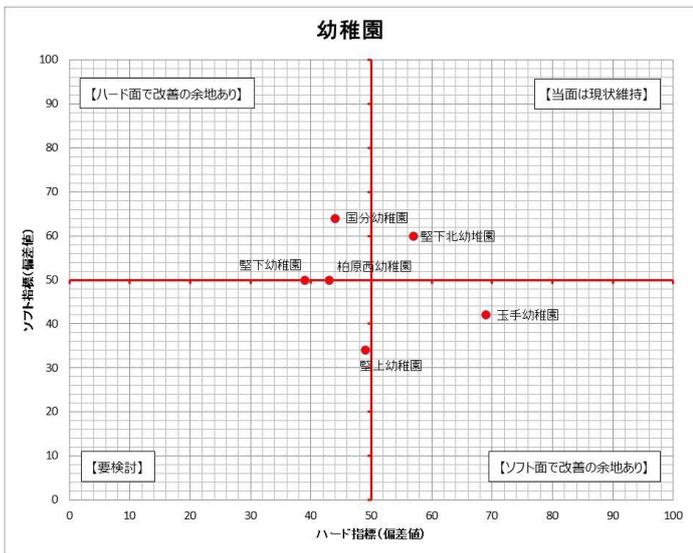
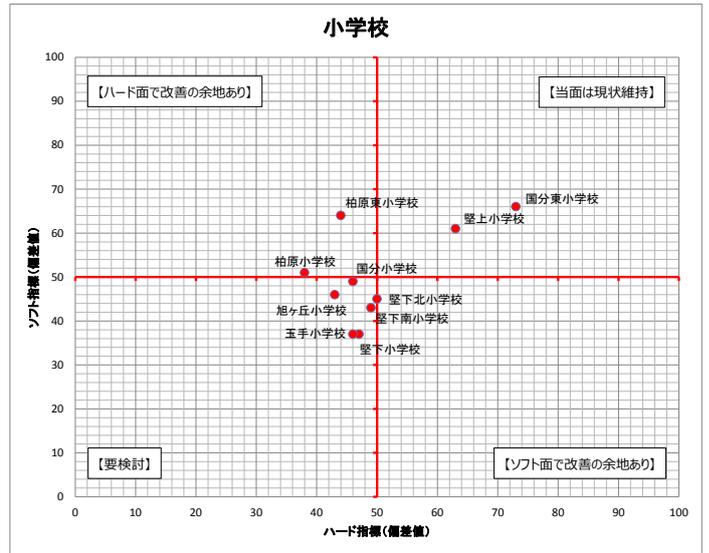
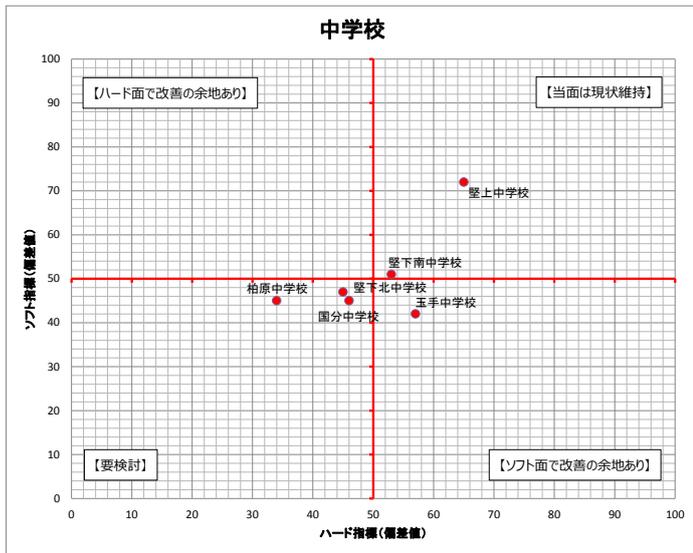
施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	評価単位	施設名称	施設面積(m <sup>2</sup> )	余裕スペースの有無	偏差値		評価結果に基づく今後の取組み方針
						ソフト指標	ハード指標	
市民文化系施設	集会施設	集会施設	国分合同会館	579.54	無	45	46	要検討
市民文化系施設	集会施設	集会施設	壁下合同会館	828.49	無	37	48	要検討
市民文化系施設	集会施設	集会施設	リビエールホール	9,243.79	無	65	40	ハード面で改善の余地あり
市民文化系施設	集会施設	集会施設	柏原市民プラザ	1,732.66	無	53	67	当面は現状維持
市民文化系施設	集会施設	コミュニティ会館	柏原西コミュニティ会館	338.27	無	41	42	要検討
市民文化系施設	集会施設	コミュニティ会館	柏原南コミュニティ会館	291.67	無	68	71	当面は現状維持
市民文化系施設	集会施設	コミュニティ会館	国分東コミュニティ会館	339.70	無	58	49	ハード面で改善の余地あり
市民文化系施設	集会施設	コミュニティ会館	壁上コミュニティ会館	272.97	無	44	51	ソフト面で改善の余地あり
市民文化系施設	集会施設	コミュニティ会館	壁下北コミュニティ会館	256.55	無	48	41	要検討
市民文化系施設	集会施設	コミュニティ会館	玉手地域コミュニティ会館	330.22	無	42	46	要検討
市民文化系施設	文化施設	文化施設	柏原市民文化センター	1,928.70	無	60	40	ハード面で改善の余地あり
市民文化系施設	文化施設	文化施設	高井田文化教室(柏陽庵)	239.85	無	40	60	ソフト面で改善の余地あり
社会教育系施設	図書館	図書館	市立柏原図書館	931.25	無	50	40	ハード面で改善の余地あり
社会教育系施設	図書館	図書館	市立国分図書館	2,112.51	無	36	60	ソフト面で改善の余地あり
社会教育系施設	博物館等	博物館	柏原市立歴史資料館	1,490.10	無	—	—	※他都市事例との比較
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ・レクリエーション施設	円明運動広場	4,325.30	無	56	45	ハード面で改善の余地あり
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ・レクリエーション施設	壁下運動広場	2,200.00	無	56	49	ハード面で改善の余地あり
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ・レクリエーション施設	市営片山庭球場	3,333.00	無	55	56	当面は現状維持
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ・レクリエーション施設	柏原オーエンスアリーナ	2,135.08	無	44	27	要検討
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ・レクリエーション施設	柏原オーエンス第二アリーナ	918.26	無	49	51	ソフト面で改善の余地あり
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ・レクリエーション施設	青谷青少年運動広場	21,399.94	無	56	61	当面は現状維持
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ・レクリエーション施設	平野子どもスポーツ広場	3,742.91	無	57	52	当面は現状維持
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ・レクリエーション施設	高尾山創造の森	179.44	無	26	60	ソフト面で改善の余地あり
産業系施設	産業系施設	産業系施設	農業総合地域センター	363.36	無	40	40	要検討
産業系施設	産業系施設	産業系施設	柏原市立勤労者センター	1,637.17	無	60	60	当面は現状維持
学校教育系施設	学校	中学校	柏原中学校	7,609.04	無	45	34	要検討
学校教育系施設	学校	中学校	壁上中学校	3,682.17	無	72	65	当面は現状維持
学校教育系施設	学校	中学校	国分中学校	6,824.13	無	47	45	要検討
学校教育系施設	学校	中学校	壁下北中学校	7,071.35	無	45	46	要検討
学校教育系施設	学校	中学校	壁下南中学校	6,516.94	無	51	53	当面は現状維持
学校教育系施設	学校	中学校	玉手中学校	8,434.31	無	42	57	ソフト面で改善の余地あり
学校教育系施設	小学校	小学校	柏原小学校	8,687.46	無	51	38	ハード面で改善の余地あり
学校教育系施設	小学校	小学校	柏原東小学校	6,259.48	無	64	44	ハード面で改善の余地あり
学校教育系施設	小学校	小学校	壁上小学校	2,398.48	無	61	63	当面は現状維持
学校教育系施設	小学校	小学校	国分小学校	7,212.83	無	49	46	要検討
学校教育系施設	小学校	小学校	国分東小学校	5,679.52	無	66	73	当面は現状維持
学校教育系施設	小学校	小学校	壁下小学校	6,050.68	無	37	47	要検討
学校教育系施設	小学校	小学校	壁下北小学校	5,586.07	無	45	50	ソフト面で改善の余地あり
学校教育系施設	小学校	小学校	壁下南小学校	5,190.70	無	43	49	要検討
学校教育系施設	小学校	小学校	玉手小学校	5,488.44	無	37	46	要検討
学校教育系施設	小学校	小学校	旭ヶ丘小学校	6,723.67	無	46	43	要検討
子育て支援施設	幼稚園	幼稚園	玉手幼稚園	561.00	無	42	69	ソフト面で改善の余地あり
子育て支援施設	幼稚園	幼稚園	壁下北幼稚園	580.00	無	60	57	当面は現状維持
子育て支援施設	幼稚園	幼稚園	壁下幼稚園	743.00	無	50	39	ハード面で改善の余地あり
子育て支援施設	幼稚園	幼稚園	壁上幼稚園	157.00	無	34	49	要検討
子育て支援施設	幼稚園	幼稚園	国分幼稚園	800.00	無	64	44	ハード面で改善の余地あり
子育て支援施設	幼稚園	幼稚園	柏原西幼稚園	784.00	無	50	43	ハード面で改善の余地あり
子育て支援施設	保育所	保育所	柏原保育所	478.31	無	42	28	要検討
子育て支援施設	保育所	保育所	国分保育所	513.85	無	39	50	ソフト面で改善の余地あり
子育て支援施設	保育所	保育所	円明保育所	599.80	無	49	54	ソフト面で改善の余地あり
子育て支援施設	保育所	保育所	壁下保育所	465.37	無	43	55	ソフト面で改善の余地あり
子育て支援施設	保育所	保育所	法善寺保育所	777.53	無	67	56	当面は現状維持
子育て支援施設	保育所	保育所	柏原西保育所	603.61	無	59	56	当面は現状維持
子育て支援施設	放課後児童会	放課後児童会	柏原東小学校放課後児童会	197.08	有	56	52	当面は現状維持
子育て支援施設	放課後児童会	放課後児童会	壁下小学校放課後児童会	133.53	無	42	52	ソフト面で改善の余地あり
子育て支援施設	放課後児童会	放課後児童会	壁下北小学校放課後児童会	136.00	無	53	25	ハード面で改善の余地あり
子育て支援施設	放課後児童会	放課後児童会	壁下南小学校放課後児童会	158.76	無	29	48	要検討
子育て支援施設	放課後児童会	放課後児童会	国分小学校放課後児童会	130.30	無	46	53	ソフト面で改善の余地あり
子育て支援施設	放課後児童会	放課後児童会	国分東小学校放課後児童会	64.00	無	56	61	当面は現状維持
子育て支援施設	放課後児童会	放課後児童会	玉手小学校放課後児童会	197.32	無	63	52	当面は現状維持
子育て支援施設	放課後児童会	放課後児童会	旭ヶ丘小学校放課後児童会	164.94	無	56	56	当面は現状維持

表⑪-2 評価結果【市民サービス施設】

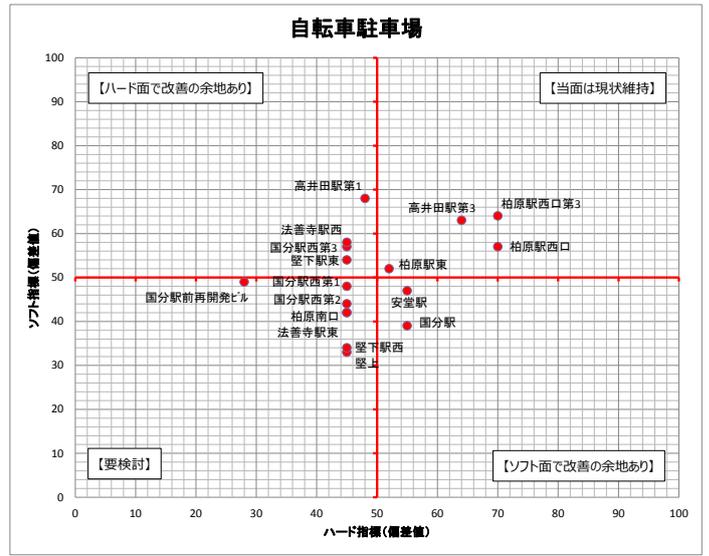
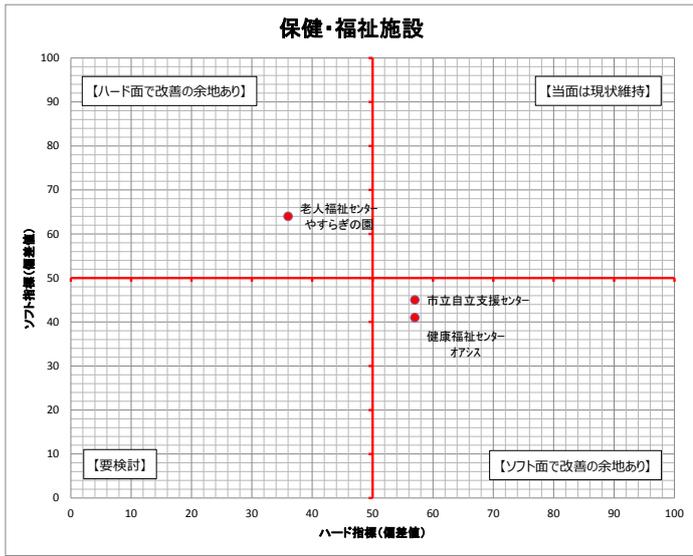
施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	評価単位	施設名称	施設面積 (㎡)	余裕スペース の有無	偏差値		評価結果に基づく今後の取組み方針
						ソフト指標	ハード指標	
子育て支援施設	その他施設	その他施設	スキップKIDS	228.50	無	54	54	当面は現状維持
子育て支援施設	その他施設	その他施設	つどいの広場 たまてばこ	143.90	無	44	56	ソフト面で改善の余地あり
子育て支援施設	その他施設	その他施設	ハロー-KIDS	49.00	無	38	33	要検討
子育て支援施設	その他施設	その他施設	ほっとステーション	342.50	無	64	57	当面は現状維持
保健・福祉施設	保健施設	保健・福祉施設	健康福祉センター オアシス	3,725.48	無	41	57	ソフト面で改善の余地あり
保健・福祉施設	高齢福祉施設	保健・福祉施設	老人福祉センター やすらぎの園	2,048.00	無	64	36	ハード面で改善の余地あり
保健・福祉施設	障害福祉施設	保健・福祉施設	市立自立支援センター	1,395.44	無	45	57	ソフト面で改善の余地あり
医療施設	医療施設	医療施設	市立柏原病院	20,574.98	無	—	—	※他都市事例との比較
その他	自転車駐車場	自転車駐車場	柏原駅東自転車駐車場	992.18	無	52	52	当面は現状維持
その他	自転車駐車場	自転車駐車場	柏原駅西口第3自転車駐車場	238.75	無	64	70	当面は現状維持
その他	自転車駐車場	自転車駐車場	柏原駅西口自転車・自動車駐車場	981.24	無	57	70	当面は現状維持
その他	自転車駐車場	自転車駐車場	柏原南口自転車駐車場	24.00	無	42	45	要検討
その他	自転車駐車場	自転車駐車場	安堂駅自転車駐車場	161.00	無	47	55	ソフト面で改善の余地あり
その他	自転車駐車場	自転車駐車場	堅下駅西自転車駐車場	136.00	無	33	45	要検討
その他	自転車駐車場	自転車駐車場	堅下駅東自転車駐車場	67.00	無	54	45	ハード面で改善の余地あり
その他	自転車駐車場	自転車駐車場	堅上自転車駐車場	46.00	無	34	45	要検討
その他	自転車駐車場	自転車駐車場	高井田駅第1自転車駐車場	1,064.03	無	68	48	ハード面で改善の余地あり
その他	自転車駐車場	自転車駐車場	高井田駅第3自転車駐車場	423.09	無	63	64	当面は現状維持
その他	自転車駐車場	自転車駐車場	国分駅西第1自転車駐車場	439.00	無	48	45	要検討
その他	自転車駐車場	自転車駐車場	国分駅西第2自転車駐車場	187.00	無	44	45	要検討
その他	自転車駐車場	自転車駐車場	国分駅西第3自転車駐車場	213.00	無	57	45	ハード面で改善の余地あり
その他	自転車駐車場	自転車駐車場	国分駅東自転車駐車場	114.35	無	39	55	ソフト面で改善の余地あり
その他	自転車駐車場	自転車駐車場	国分駅前再開発ビル自転車置場	1,087.70	無	49	28	要検討
その他	自転車駐車場	自転車駐車場	法善寺駅東自転車駐車場	222.00	無	42	45	要検討
その他	自転車駐車場	自転車駐車場	法善寺駅西自転車駐車場	210.00	無	58	45	ハード面で改善の余地あり



図④-1 評価単位別ポートフォリオ(市民サービス系施設)



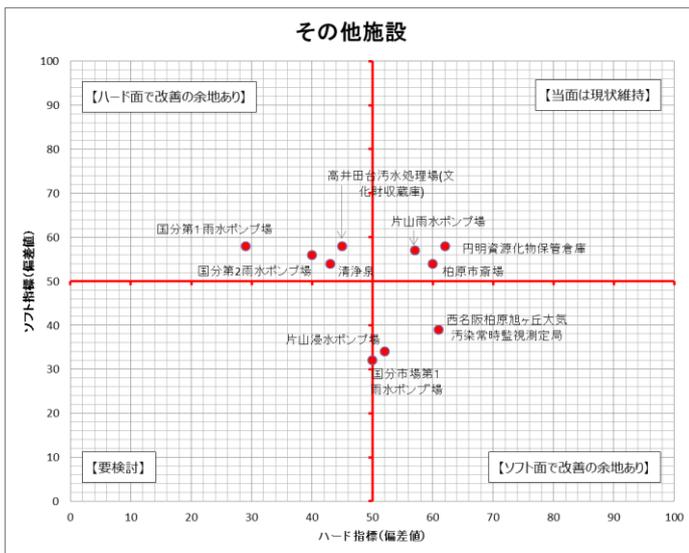
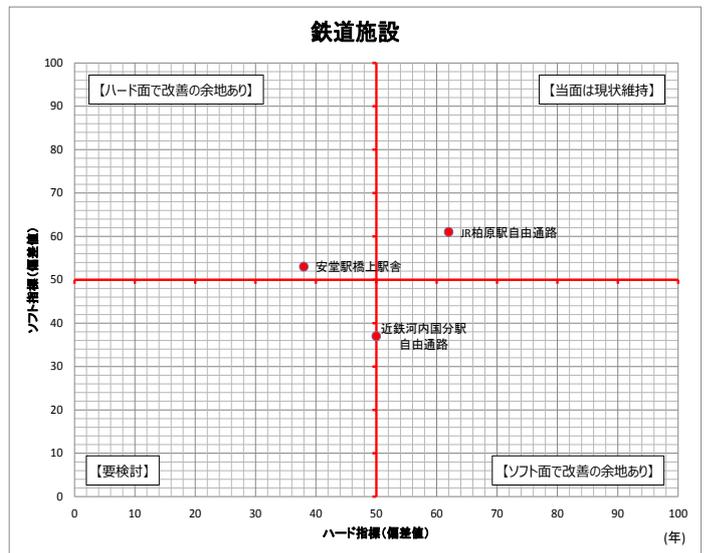
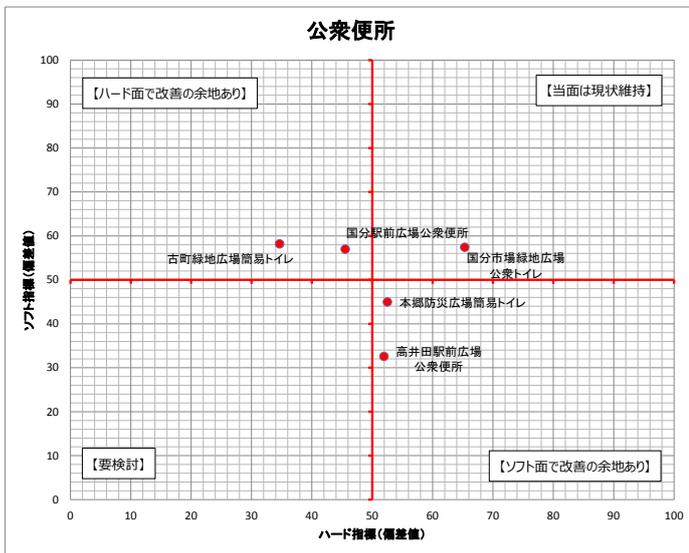
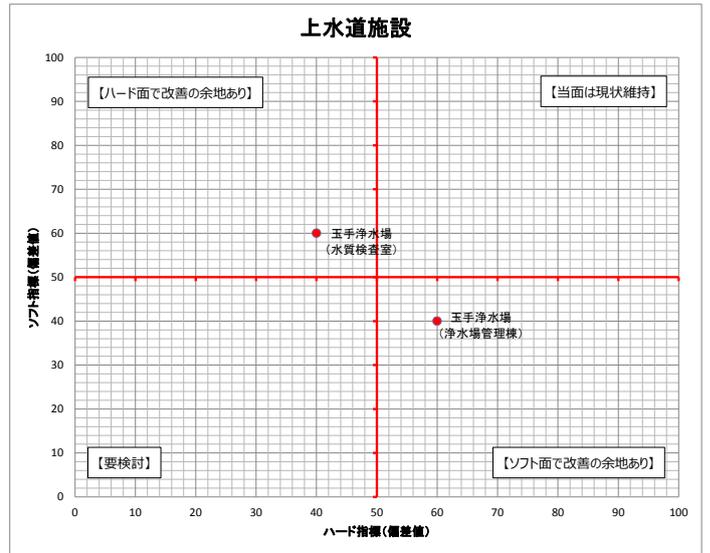
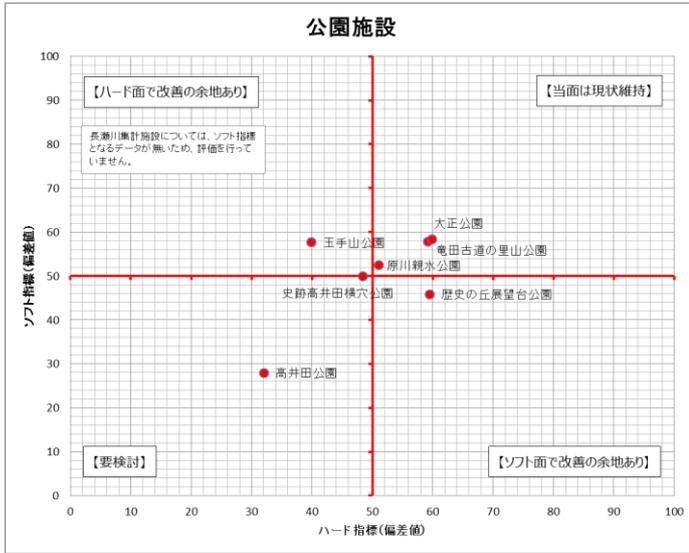
図④-2 評価単位別ポートフォリオ(市民サービス系施設)



図④-3 評価単位別ポートフォリオ(市民サービス系施設)

表⑫ 評価結果【生活基盤系施設】

施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	評価単位	施設名称	施設面積 (㎡)	余裕スペース の有無	偏差値		評価結果に基づく今後の取組み方針
						ソフト指標	ハード指標	
公園	公園	公園施設	玉手山公園	1,398.90	無	58	40	ハード面で改善の余地あり
公園	公園	公園施設	竜田古道の里山公園	327.66	無	58	59	当面は現状維持
公園	公園	公園施設	原川親水公園	10.21	無	52	51	当面は現状維持
公園	公園	公園施設	史跡高井田横穴公園	76.30	無	50	48	ハード面で改善の余地あり
公園	公園	公園施設	大正公園	20.00	無	58	60	当面は現状維持
公園	公園	公園施設	歴史の丘展望台公園	9.68	無	46	59	ソフト面で改善の余地あり
公園	公園	公園施設	高井田公園	9.00	無	28	32	要検討
上水道施設	上水道施設	上水道施設	玉手浄水場(浄水場管理棟)	1,371.05	無	40	60	ソフト面で改善の余地あり
上水道施設	上水道施設	上水道施設	玉手浄水場(水質検査室)	510.00	無	60	40	ハード面で改善の余地あり
その他	公衆便所	公衆便所	高井田駅前広場公衆便所	18.00	無	33	52	ソフト面で改善の余地あり
その他	公衆便所	公衆便所	国分駅前広場公衆便所	29.05	無	57	46	ハード面で改善の余地あり
その他	公衆便所	公衆便所	国分市場緑地広場公衆トイレ	4.05	無	57	65	当面は現状維持
その他	公衆便所	公衆便所	古町緑地広場簡易トイレ	2.90	無	58	35	ハード面で改善の余地あり
その他	公衆便所	公衆便所	本郷防災広場簡易トイレ	1.03	無	45	53	ソフト面で改善の余地あり
その他	鉄道施設	鉄道施設	安堂駅橋上駅舎	652.00	無	53	38	ハード面で改善の余地あり
その他	鉄道施設	鉄道施設	JR柏原駅自由通路	868.73	無	61	62	当面は現状維持
その他	鉄道施設	鉄道施設	近鉄河内国分駅自由通路	290.00	無	37	50	ソフト面で改善の余地あり
その他	その他	その他施設	国分市場第1雨水ポンプ場	19.44	無	32	50	ソフト面で改善の余地あり
その他	その他	その他施設	国分第1雨水ポンプ場	170.05	無	58	29	ハード面で改善の余地あり
その他	その他	その他施設	国分第2雨水ポンプ場	3,316.60	無	56	40	ハード面で改善の余地あり
その他	その他	その他施設	片山雨水ポンプ場	1,508.40	無	57	57	当面は現状維持
その他	その他	その他施設	片山浸水ポンプ場	29.28	無	34	52	ソフト面で改善の余地あり
その他	その他	その他施設	円明資源化物保管倉庫	26.19	無	58	62	当面は現状維持
その他	その他	その他施設	西名阪柏原旭ヶ丘大気汚染常時監視測定局	10.10	無	39	61	ソフト面で改善の余地あり
その他	その他	その他施設	柏原市斎場	998.20	無	54	60	当面は現状維持
その他	その他	その他施設	清浄泉	8.29	無	54	43	ハード面で改善の余地あり
その他	その他	その他施設	高井田台汚水処理場(文化財収蔵庫)	620.00	無	58	45	ハード面で改善の余地あり



図⑤ 評価単位別ポートフォリオ(生活基盤系施設)

■評価単位別の施設が少なく、ポートフォリオによる分類のできなかった施設についての評価

- 評価単位別に分類すると、1施設しかない「柏原市歴史資料館」と「柏原市立柏原病院」については、大阪府内の他都市（平成28年7月時点で公共施設等総合管理計画を公表されている自治体）の類似施設と財務（コスト）について比較を行いました。
- 柏原市歴史資料館については、他都市事例と比較すると、延床面積1㎡あたりのコストは最も低くなっています。
- 市立柏原病院については、他都市事例と比較すると、運営形態の違いを考慮する必要はあるものの、延床面積1㎡あたりのコストは平均的です。

表⑬ 他都市事例との比較

施設類型	施設名称	延床面積(㎡)	歳出計(円)	コスト(円/㎡)
博物館	柏原市歴史資料館	1,490.10	15,792,590	10,598
	参考事例(A市)	1,252.70	26,728,000	21,336
	参考事例(B市)	908.00	21,328,503	23,490
	参考事例(C市)	2,305.92	62,372,000	27,049
医療施設	柏原市立柏原病院	20,574.98	2,308,187,991	112,184
	参考事例(D市)	34,926.00	9,623,272,000	275,533
	参考事例(E市) ※指定管理	16,161.00	279,345,000	17,285

※柏原市歴史資料館（1992年築）、柏原市立柏原病院（2005年築）

#### 4. 設置基準による施設評価の考え方

##### (1) 設置基準による施設評価の方法

- 「設置基準による施設評価」では、法令等で設置基準が設定されている施設を対象に、法令等の設置基準を満たしているかという視点で評価します。(表⑭「設置基準による評価指標・評価方法」参照)

表⑭ 設置基準による評価指標・評価方法

評価指標	評価方法
設置基準との比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 法例等で定められた施設の設置に関する定量的な基準（表⑪「設置基準」参照） <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ (図書館) 人口に応じた施設の面積基準と蔵書冊数の基準</li> <li>➢ (中学校) 生徒数に応じた校舎の面積基準</li> <li>➢ (小学校) 児童数に応じた校舎の面積基準</li> <li>➢ (幼稚園) 学級数に応じた園舎の面積基準</li> <li>➢ (保育所) 幼児一人当たりの面積基準</li> </ul> </li> </ul>

施設規模等の適正さを評価します。

##### (2) 法令等で定められた設置基準

- 「図書館」「中学校」「小学校」「幼稚園」「保育所」について、設置基準は次の通りです。

表⑮ 設置基準

対象施設	設置基準等
図書館	<p>【延床面積の基準】</p> <p>人口 6,900 人未満 1,080 m<sup>2</sup>を最低とし、  人口 18,100 人までには 1 人につき、0.05 m<sup>2</sup>  46,300 人までには 1 人につき、0.05 m<sup>2</sup>  152,200 人までには 1 人につき、0.03 m<sup>2</sup>  379,800 人までには 1 人につき、0.02 m<sup>2</sup>を加算する。</p> <p>【蔵書冊数の基準】</p> <p>人口 6,900 人未満 67,270 冊を最低とし、  人口 18,100 人までには 1 人につき、3.6 冊  46,300 人までには 1 人につき、4.8 冊  152,200 人までには 1 人につき、3.9 冊  379,800 人までには 1 人につき 1.8 冊を加算する。</p> <p>※「公立図書館の任務と目標」(図書館システム整備のための数値基準)  日本図書館協会</p>
中学校	<p>【校舎の面積基準】</p> <p>生徒数 1 人以上 40 人以下の場合：600 m<sup>2</sup>  生徒数 41 人以上 480 人以下の場合：600 m<sup>2</sup> + 6 × (生徒数 - 40)  生徒数 481 人以上の場合：3,240 m<sup>2</sup> + 4 × (生徒数 - 480)</p> <p>※中学校設置基準 第 8 条</p>

<p>小学校</p>	<p>【校舎の面積基準】          児童数 1 人以上 40 人以下の場合：500 m<sup>2</sup>          児童数 41 人以上 480 人以下の場合：500 m<sup>2</sup> + 5 × (児童数 - 40)          児童数 481 人以上の場合：2,700 m<sup>2</sup> + 3 × (児童数 - 480)          ※小学校設置基準 第 8 条</p>
<p>幼稚園</p>	<p>【園舎の面積基準】          1 学級の場合：180 m<sup>2</sup>          2 学級以上の場合：320 m<sup>2</sup> + 100 m<sup>2</sup> × (学級数 - 2)          ※幼稚園設置基準 第 8 条</p>
<p>保育所</p>	<p>【保育室（遊戯室）の面積基準】          幼児 1 人につき 1.98 m<sup>2</sup></p>

## 5. 設置基準による施設評価結果

### (1) 設置基準と現状の比較

- 保育所・幼稚園については、「堅上幼稚園」の園舎が設置基準の半分程度の延床面積であり、唯一設置基準を満たしていませんが、「堅上幼稚園」以外の施設については、概ね設置基準の2倍～4倍の規模の園舎面積を有しています。
- 小・中学校では全ての施設が設置基準を上回る（1.5倍～4.7倍）規模を有しています。
- 図書館については、延床面積と蔵書冊数がともに設置基準を下回る結果となっています。

表⑩-1 設置基準との比較結果(市立図書館)

施設名称	延床面積 ①	蔵書冊数 ②	設置基準		基準比		備考
			延床面積 ③	蔵書冊数 ④	延床面積 ①÷③	蔵書冊数 ②÷④	
柏原図書館	931.25	139,700	-	-	-	-	蔵書冊数は H26年度の数値
国分図書館	2,112.51	93,798	-	-	-	-	
図書館 計	3,043.76	233,498	3,834.14	344,888	0.8	0.7	

※単独の図書館ではなく、柏原図書館と国分図書館の合計値で設置基準と比較しています。

※設置基準の算出に必要な人口は、平成26年度3月末日の人口（住民基本台帳）72,438人で算出しています。

表⑩-2 設置基準との比較結果(中学校)

施設名称	延床面積 (現況)※：①	在籍者数 (生徒数)	設置基準 面積：②	面積比 ①÷②	判定	備考
柏原中学校	4,597.92	426	2,430.00	1.9	○	児童数はH26年度数値
堅上中学校	2,662.00	48	648.00	4.1	○	児童数はH26年度数値
国分中学校	4,915.20	357	2,502.00	2.0	○	児童数はH26年度数値
堅下北中学校	5,052.60	446	3,036.00	1.7	○	児童数はH26年度数値
堅下南中学校	4,981.97	231	1,746.00	2.9	○	児童数はH26年度数値
玉手中学校	6,840.46	515	3,380.00	2.0	○	児童数はH26年度数値

※「延床面積（現況）」は、施設の総延床面積のうち体育館等を除く校舎（教室棟や管理棟）のみの延床面積。

表⑩-3 設置基準との比較結果(小学校)

施設名称	校舎延面積 (現況)※：①	在籍者数 (児童数)	設置基準 面積：②	面積比 ①÷②	判定	備考
柏原小学校	7,466.00	506	2,778.00	2.7	○	児童数はH26年度数値
柏原東小学校	4,686.85	302	1,810.00	2.6	○	児童数はH26年度数値
堅上小学校	2,366.66	84	500.00	4.7	○	児童数はH26年度数値
国分小学校	4,769.00	504	2,772.00	1.7	○	児童数はH26年度数値
国分東小学校	4,285.00	129	945.00	4.5	○	児童数はH26年度数値
堅下小学校	4,763.08	413	2,365.00	2.0	○	児童数はH26年度数値
堅下北小学校	3,911.28	275	1,675.00	2.3	○	児童数はH26年度数値
堅下南小学校	3,820.74	385	2,225.00	1.7	○	児童数はH26年度数値
玉手小学校	4,431.54	553	2,919.00	1.5	○	児童数はH26年度数値
旭ヶ丘小学校	5,654.88	451	2,555.00	2.2	○	児童数はH26年度数値

※「延床面積（現況）」は、施設の総延床面積のうち体育館等を除く校舎（教室棟や管理棟）のみの延床面積。

表⑩-4 設置基準との比較結果(保育所・幼稚園)

施設名称	延床面積 (現況)※：①	在籍者数 (児童数)	学級数	設置基準 面積：②	面積比 ①÷②	判定	備考
柏原保育所	478.31	78	—	154.44	3.1	○	児童数は H26 年度数値
国分保育所	513.85	60	—	118.80	4.3	○	児童数は H26 年度数値
円明保育所	599.8	126	—	294.48	2.0	○	児童数は H26 年度数値
堅下保育所	465.37	112	—	221.76	2.1	○	児童数は H26 年度数値
法善寺保育所	777.53	126	—	249.48	3.1	○	児童数は H26 年度数値
柏原西保育所	603.61	96	—	190.08	3.2	○	児童数は H26 年度数値
玉手幼稚園	561.00	49	2	320.00	1.8	○	学級数は H28.5.1 現在
堅下北幼稚園	544.00	24	1	180.00	3.0	○	学級数は H28.5.1 現在
堅下幼稚園	743.00	29	2	320.00	2.3	○	学級数は H28.5.1 現在
堅上幼稚園	147.00	26	2	320.00	0.5	×	学級数は H28.5.1 現在
国分幼稚園	800.00	90	2	320.00	2.5	○	学級数は H28.5.1 現在
柏原西幼稚園	774.00	31	2	320.00	2.4	○	学級数は H28.5.1 現在

※「延床面積（現況）」は、施設の総延床面積のうち園舎の面積。

※保育所については在籍者数（児童数）、幼稚園については学級数を用いて設置基準に基づいた園舎面積を算出しています。

## （２）結果の考察

- 「堅上幼稚園」については、設置基準を満たさない施設として評価されました。また、「3. ポートフォリオによる施設評価結果」では、ハード指標ではほぼ平均ですが、ソフト指標での評価が最も低く、「要検討」施設に分類されており、今後施設の方針を検討する上で留意すべき点と考えられます。
- 「市立図書館（柏原・国分）」については、市全体として設置基準を満たさない施設として評価されました。なお、将来的な人口から設置基準を考慮して、人口ビジョンにおいて想定されている平成 67 年の人口 56,500 人をもとに設置基準を算出すると、延床面積が 3,356 m<sup>2</sup>、蔵書冊数が 282,730 冊であり、現状の延床面積 3,044 m<sup>2</sup>、蔵書冊数 233,498 冊は平成 67 年で想定される設置基準を満たさないと考えられます。これらの事項は、今後施設の方針を検討する上で留意すべき点と考えられます。